

第9回七戸町新庁舎建設検討委員会資料②

2階建てと3階建ての費用に関する比較（試算）

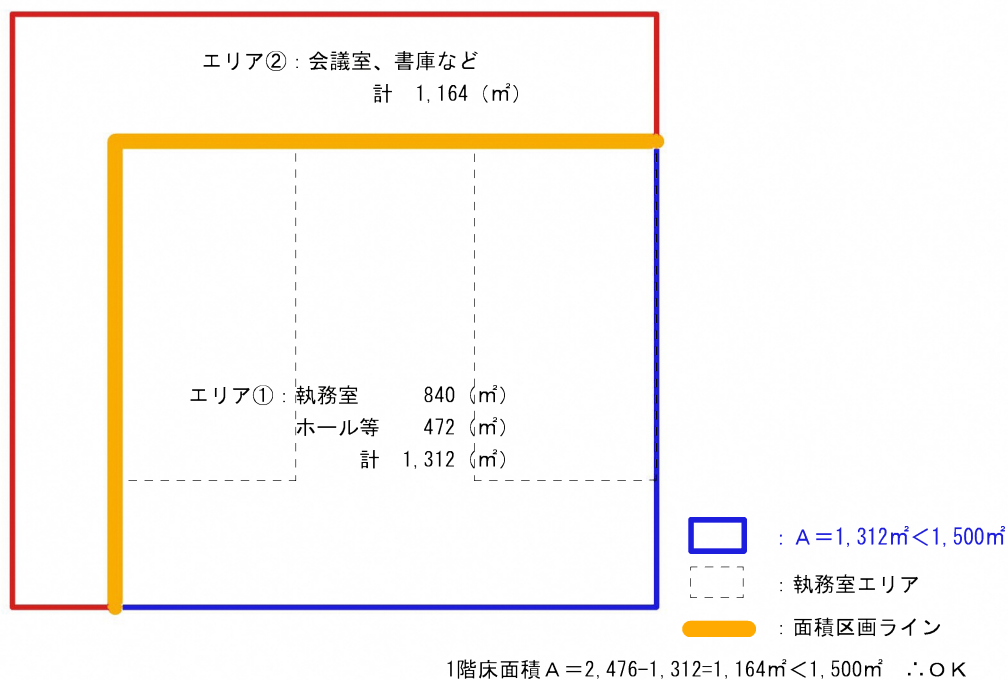
（構造をS造と仮定した場合）

（単位：円）

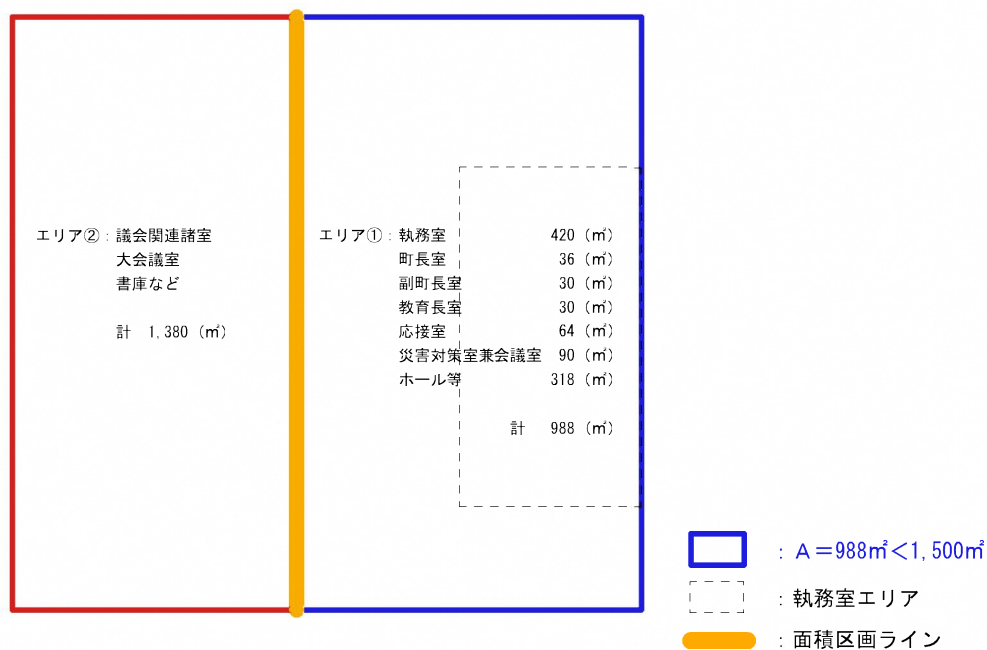
項 目	概要	2階建て	3階建て	差 額
工期が長くなる 事による諸経費 の増	階数が増えるとコンクリート養生期間を長く見込む必要性から工期が長くなります。 （床版コンクリート打設を想定した場合） したがって、養生が必要な工事以後の工程（内部仕上げ、設備工事等）も影響を受ける関係上、約1か月程度多くかかることが想定されます。	諸経費額計 510,000,000	諸経費額計 520,000,000	10,000,000
エレベーター 設備	階数が増えることで、材工共に費用が増えます。	24,000,000	39,000,000	15,000,000
建築基準法につ いて	防火区画について ①面積区画（1,500㎡以内） ② <u>縦穴区画（3階以上に居室がある建物が対象）</u> 階段部及び吹き抜け等について、火災時の炎や煙が別の階へ行くのを防止する措置が必要となります。	4,000,000	5,000,000	1,000,000
外装躯体コスト	建物外装の表面積比較により、3F建てのほうがコスト増となります。 （※階高4.5m/階として）	$A \div 1,764\text{㎡} \times 65,000$ 114,660,000	$A \div 2,160\text{㎡} \times 65,000$ 140,400,000	25,740,000
合 計				51,740,000

防火区画（比較図）※ 2 階建てパターン

【 1 階】

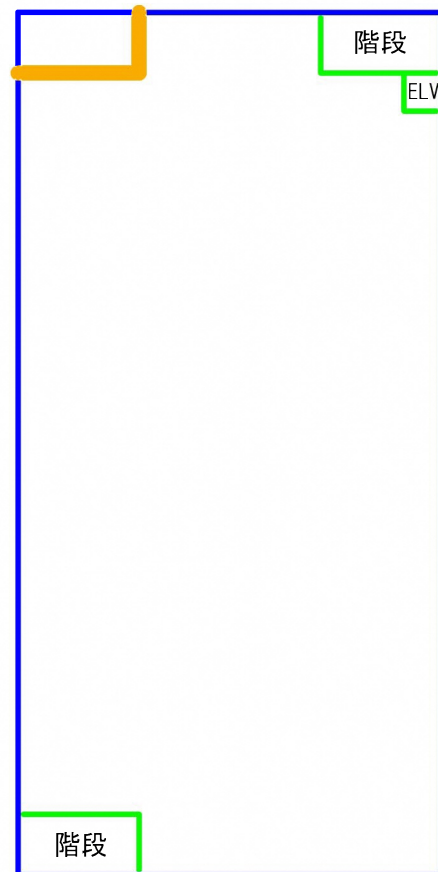


【 2 階】



防火区画（比較図）※ 3階建てパターン

【 1 階～ 3 階】 $A = 4,800\text{m}^2 / 3\text{階} = \underline{1\text{フロア}1,600\text{m}^2}$ と仮定する



 : 縦穴区画（階段・ELV）＝階段（ 8×4 ） $\times$ 2箇所+ELV（ 2.5×2.5 ）＝70.25（ m^2 ）
 $1,600（\text{m}^2） - 70.25（\text{m}^2） = \underline{1,529.75（\text{m}^2）} > 1,500（\text{m}^2）$
 $\rightarrow 1,500\text{m}^2$ を約30 m^2 オーバーしている

 : 面積区画ライン
 $1,529.75 - (8 \times 4) = 1,497.75（\text{m}^2） < 1,500\text{m}^2 \therefore \text{OK}$